

幼児の自然体験型環境学習プログラム

森・山

プログラム名	へんしん！大冒険！！！！	
対象年齢	4歳児、5歳児	
メッセージ	自然の変化に気づこう	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 発見・体験できること 葉っぱや木の実の色、形、感触の違いに気づく 葉っぱや木の実で遊ぶ楽しさを味わう 	
参加者のめやす	幼児 50人	支援者 2人
実施時間	30分	
フィールド		
実施可能時期		
自然を感じるためのヒント		
時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
0:00	①集合する ・グループごとに座る ・保育者の話を聞く	<ul style="list-style-type: none"> 約束事を伝える 通路、池の方には行かない パネルシアターを使って、動物に見立てた葉っぱの見本を子どもたちに見せる グループで活動することを伝える
0:05	②自然物を探す ・枝、葉っぱ、木の実の中から好きなものを1人5つずつ探す	<ul style="list-style-type: none"> 危険なところには保護者ボランティアの方に立ってもらい、安全面の確保をする 好きなものを見つけれられるように言葉掛けを行う 探せない子どもには、探しやすい場所を知らせたり、「こんなのはどうかな？」と声を掛ける

あそび

あそび

時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
0:15	③探してきたものを使って「動物」に見立てて作る ・4つ切りパネルシアターにグループごとで作る	<ul style="list-style-type: none"> 見つけてきたペアの子どもたちから作っていけるように声を掛ける できたものや子どもが工夫して作ったことを認める 保護者ボランティアの方には、「どんな形に見えるかな？」など、子どもたちがイメージできるような声掛けをお願いする
0:25	④ふりかえり ・保育者の話を聞く	<ul style="list-style-type: none"> 早くできた時は、他のグループの作ったものを見に行ける時間を作る 探したもの（葉っぱの色、形など）のふりかえりと完成した喜びが味わえるような声掛けをする 四季の変化に気づける言葉掛けをする 自分で見つけたものをお土産として、1人1つ持ち帰れることを伝え、残ったものは自然に戻す
	<ul style="list-style-type: none"> 見つけたもののうち、1人1つを持ち帰る（葉っぱ、木の実のみにする） 	
【園や家庭へ帰ってから】		
<ul style="list-style-type: none"> 家庭では公園で何をして遊んで良いかわからないのではないか、今日の様子を伝え、今回の遊びを家族でやってもらい、展示する。 季節の変化を自然の様子の変化から気づいてもらうようにする。 葉っぱがすべて落葉した際に、再度公園を訪れる。また春先にも行き、変化を見てみる。 園の枝や葉っぱで同じ遊びを行う。 葉っぱをそのまま置いて、土に還る様子を観察する。押し葉やラミネートで保存する方法と比較してみる。葉っぱのしおりづくり。 台紙の色を変えてみる。 		
準備物・教材等	<ul style="list-style-type: none"> パネルシアター用 パネルペーパー 4つ切りサイズ×10枚 見本用パネル1枚 	

あそび